

ヒューマンケア機器デザイン

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：演 習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：ヒューマンケア機器とは医療、介護、育児などの支援を必要とするヒューマンケアのための機器のことである。授業では、障がい者だけでなく高齢者から子どもまで幅広いユーザの中から対象を設定し、その対象者が生活の中で必要とするヒューマンケア機器について課題抽出を行い、その改善策として最適な機器のデザインを提案する。

■**到達目標**：①行動・動作について細かく分析し、問題発見をする。
②ユーザの特性を十分に理解し、発見した問題点に対する改善策を提案する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎小宮 加容子・安齋 利典・張 浦華

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 課題説明
- 第 2 回 現状調査
- 第 3 回 調査結果の分析1
- 第 4 回 調査結果の分析2
- 第 5 回 問題点の整理
- 第 6 回 アイデア展開
- 第 7 回 デザインコンセプトの立案
- 第 8 回 モデル製作1
- 第 9 回 モデル製作2
- 第10回 モデル製作3
- 第11回 モデル製作4
- 第12回 評価実験
- 第13回 評価実験結果の検討、デザイン修正
- 第14回 プレゼン資料作成
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**：作成資料を適宜配布する

■**参考文献**：適宜紹介する

■**成績評価基準と方法**：授業態度（40%程度）、課題発表（20%程度）、課題成果（40%程度）を総合的に判断し成績を判定する。

| 評価方法 | 到達目標 | | 評価基準 | 評価割合 (%) |
|-------|-------|-------|----------|----------|
| | 到達目標① | 到達目標② | | |
| 授業態度 | ○ | ○ | 積極的な姿勢 | 40 |
| 発表 | ○ | ○ | 明快さ、説得力 | 20 |
| 課題・作品 | ○ | ○ | 完成度、新規性 | 40 |
| 出席 | | | 2/3以上の出席 | 欠格条件 |

■**関連科目**：ヒューマンファクターズ、ヒューマンファクターズ入門、ユニバーサルデザイン論、デザイン総合実習I、II、III

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：さまざまなユーザの特性について理解し、機能性とデザイン性の両面を考慮した新しいヒューマンケア機器のデザインを提案して欲しい。